

SNS 利用ガイドブック

はじめに

私たちが日ごろ利用している SNS は、楽しく便利なツールである一方、匿名で自由な書き込みや投稿が可能であることから、周りの人や自分自身を傷つける可能性も有しています。

本校は、看護専門職者を養成する教育機関です。ひとの命や権利を守る役割を担う私たちは、SNS の利用により自他を傷つけることのないよう、その危険性を十分に理解し、自覚的に利用しなければなりません。

SNS の危険性

1. 公開されやすい
2. つながりやすい
3. 拡散されやすい
4. 保存されやすい
5. 個人が特定されやすい

SNS で発信してはならないこと

- 誹謗中傷など他者の名誉・信用を傷つけるおそれのあるもの
- 他者のプライバシーを侵害するおそれのあるもの
- 著作権や肖像権を侵害するおそれのあるもの
- 差別的なもの
- 虚偽のもの
- 性的な画像や文章
- 社会の決まり、学校の規定に反するもの
- 病院・学校の信用や品位を傷つけるおそれのあるもの

実際のトラブル事例

校内で撮影したとみられる臓器の 写真を Twitter に投稿

先生が病院で病死した患者の臓器を持ってきて、それを看護学生が校内で撮影し Twitter に投稿。ネットで騒ぎとなった。看護学生として倫理観を著しく欠く行為であり、Web サイトで謝罪。その後、退学した。

ファミレスで学習の様子を Instagram に投稿

臨地実習中、同級生 2 人とファミレスで学習していた。うち 1 人がその様子を撮影し、無断で Instagram に投稿。写真には看護記録が小さく写っていた。

アカウント停止で気づいた 「著作権の侵害」

大好きな漫画作品を You Tube に無断でアップロードし、著作権侵害で逮捕

見知らぬ人が虚偽の内容を投稿

見知らぬ人が自分の彼氏と付き合い二股をかけていると、身に覚えのない虚偽の内容を Twitter に投稿した。

臨地実習の内容と受け持ち患者の 情報を Twitter に投稿

臨地実習中の内容と受け持ち患者の発達段階や特徴を投稿。

それを見ていた第三者が学校に連絡し発覚。拡散したものは削除できずに処分を受けた。

・皆さんと考えた起こりうる事例

Instagramのアイコンが知らない人の出会い系アプリに使用された

普段使用しているInstagramのアイコンが見知らぬ人に、勝手に出会い系のアプリに使用された。

許可なく写真をSNSに投稿

許可なく卒業式の写真をSNS上に顔も隠さず投稿された。

見知らぬ人から誹謗中傷を受けた

見知らぬ人からの誹謗中傷な内容のダイレクトメッセージが届いた。

LINEに添付した資料が流出

PCからLINEに個人の氏名が記入された看護記録（Word）を添付してグループメンバーと共有した。LINEアカウントが乗っ取られ、何者かに流出させられた。

鍵のかけ忘れで他者に関覧

Instagramのストーリーズに鍵をかけ忘れ、投稿した内容が他者に関覧され利用された。

知らない人をフォロー

知り合いだと思いSNSでフォローした人が、全く知らない人だった。

SNS を利用する時に守るべきこと

1. 実習で得た情報を SNS に投稿しない。

患者とそのご家族のこと、実習メンバーのこと、病院内のこと、指導者や病院スタッフのこと、教員のこと、実習で起こった出来事、実習の予定、学習の記録など、実習に関することを SNS に投稿してはなりません。

2. 講義や演習のことを SNS に投稿しない。

対面や遠隔講義の教室の様子、講師の様子、演習の様子、実技試験の様子など、学内の講義や演習に関することを SNS に投稿してはなりません。

3. 著作権や肖像権を侵害する可能性のあるものを SNS に投稿しない。

電子テキストや配布された資料、調べた図書の画像など、著作権や肖像権があるものを SNS に投稿してはなりません。

4. 人を傷つけるおそれのある誹謗中傷を SNS に投稿しない。

看護師を目指すものとして、自ら他者を積極的に傷つけることをしてはなりません。

おわりに

あなたが SNS に投稿しようとしていることは、悪意がなくても、たとえ良いと思うことであっても、それが一生残っても、世界中のひとが目にしても、問題ないといえることですか？ 一時の感情で、短時間で消えることだからと安易に投稿していませんか？

あなたが SNS に投稿することで、傷つくひとは本当にいませんか？

SNS に投稿する前に、立ち止まってよく考えてみてください。